

平成 31 年 度

事 業 報 告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

# 平成 31 年度事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

法人本部事業	
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設利用者及び職員等の安全・衛生管理をするため日々のヒアリハットの改善策を分析し生活環境・利用環境の向上を徹底した。</li> <li>2. 無駄なく工夫改善を図り経費節約に努め、効率良い利用者支援を実現した。</li> <li>3. 施設利用者の苦情解決及び人権の尊重し擁護を徹底した。</li> <li>4. 理事の各施設内部監査を実施した。</li> <li>5. 地域との関係を円滑に図ることを実施した。</li> </ol>
実施事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小樽四ツ葉学園建設整備計画準備立ち上げ委員会設置する。 準備継続</li> <li>2. 運営規程に準じ第三者評価機関の受審を計画実施継続する。 実施継続</li> </ol>
地域における公益的な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設退所後の利用者に対し、預り金管理の継続を実施した。</li> <li>2. 当施設利用中の生活困窮者に対し、冬期間の灯油の援助を実施した。</li> <li>3. 園芸市を開催し、学園周辺地域住民の方々へ提供した。</li> <li>4. 朝里地区と共同で、まちづくりの一環として花苗の提供及び苗植えを実施した。</li> <li>5. 学園の各行事等お祭りに近隣住民の方々をご招待し交流親睦を図った。</li> <li>6. 小樽市内の社会福祉関係機関の一員として、生活困窮者へ援助対応した。</li> <li>7. 冬期間の各施設の近隣住民の除雪協力を実施した。</li> <li>8. 防災時対策施設の開放及び防災機器の整備推進を図った。</li> </ol>

## 平成31年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	障害者支援施設 小樽四ツ葉学園	定員 60名	現員 55名
施設整備事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 管理棟ボイラー配管更新</li> <li>2. 非常災害用備品（発電機他）</li> <li>3. ソファ 10脚（保護者会）</li> <li>4. イベント用テーブル・イス（後援会）</li> </ol>	<p>2, 592, 000円</p> <p>315, 253円</p> <p>477, 360円</p> <p>588, 880円</p>	
	合 計	3, 973, 493円	
支援サービスの目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個別支援計画の見直しを年2回実施し、個々に適した計画実施の充実を図った。</li> <li>2. 利用者個々の健康面を重視し、健康維持のため、軽い運動を取り入れると共に、医療機関との協力体制の強化に努めた。</li> <li>3. 虐待防止委員会を組織し、虐待に繋がるような支援をチェックし、利用者の人権の尊重及び権利擁護の確立を図った。</li> <li>4. 利用者の安全を確保するため、ヒヤリ・ハットの報告を活用し、防止対策の徹底を図った。</li> <li>5. 感染症対策委員会を定期的開催し、ノロウイルス・インフルエンザ等の予防対策を保健衛生面から強化し、実施対策の徹底を図った。</li> <li>6. 利用者個人の意思決定を尊重し、適切な日常の施設サービスの向上を目指し、実施するよう努めた。</li> <li>7. 利用者集会での要望意見等を積極的に取り入れ改善強化を図った。(年4回実施)</li> </ol>		
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 近隣の人々と行事等などで相互に交流を深め、利用者が楽しく生活できる環境づくりに努めた。(四ツ葉祭り、花火大会等)</li> <li>2. 施設作品の展示・即売会等を通じ、市内全域の方々に日中の活動の状況を知って頂き、理解を深めてもらうよう努めた。</li> <li>3. 利用者の代理人及び家族との懇談会・勉強会等を実施した。</li> <li>4. 近隣地域の環境整備事業へ積極的に参加した。(歩道の花壇整備等)</li> </ol>		

## 平成31年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

生活介護事業所 よつばふれあい 定員40名 現員42名	
施設整備	<p>1. 非常災害用備品（発電機他） <span style="float: right;">315,253円</span></p>
支援サービスの目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個別支援計画の見直しを年2回実施し、個々に適した支援計画の充実を図った。</li> <li>2. 利用者個人の希望を尊重し、日中活動として、椎茸・園芸・農産・軽作業・手芸等を提供し、利用者個々の適性に合ったサービスを提供するよう努めた。</li> <li>3. 虐待防止委員会を組織し、虐待に繋がるような支援をチェックし、利用者の人権の尊重及び権利擁護の確立を図った。</li> <li>4. 防火対策及び災害対策の強化を図って行くように努めた。 (避難訓練実施年～2回実施)</li> <li>5. 感染症対策委員会を定期的に開催し、ノロウイルス、インフルエンザ等の予防対策を保健衛生面から強化した。</li> <li>6. 利用者集会を開催し、要望・意見等に速やかに対応するよう努めた。</li> </ol>
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学園の行事に参加をして頂き、交流を深め、地域の一員として確立していけるように努めた。</li> <li>2. 町内会の行事等に積極的に参加するよう努めた。(歩道花壇整備等)</li> <li>3. 町内会へ駐車場等の提供を行った。</li> <li>4. 園芸作品(花苗等)の販売を通じ、地域貢献に努めた。(5月中旬～下旬)</li> </ol>

## 平成31年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

生活介護事業所 よつばさくら 定員40名 現員39名							
施設整備	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">1. 車両更新 (スズキ ソリオ)</td> <td style="text-align: right;">2,300,000円</td> </tr> <tr> <td>2. 非常災害用備品 (発電機他)</td> <td style="text-align: right;">315,253円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: right;">2,615,253円</td> </tr> </table>	1. 車両更新 (スズキ ソリオ)	2,300,000円	2. 非常災害用備品 (発電機他)	315,253円	合計	2,615,253円
1. 車両更新 (スズキ ソリオ)	2,300,000円						
2. 非常災害用備品 (発電機他)	315,253円						
合計	2,615,253円						
支援サービスの目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個別支援計画の見直しを年2回実施し、個々に適した支援計画の充実を図った。</li> <li>2. 利用者個人の希望を尊重し、日中活動として、椎茸・園芸・農産・軽作業・手芸等を提供し、利用者個々の適性に応じたサービスを提供するよう努めた。</li> <li>3. 虐待防止委員会を組織し、虐待に繋がるような支援をチェックし、利用者の人権の尊重及び権利擁護の確立を図った。</li> <li>4. 防火対策及び災害対策の強化を図って行くように努めた。 (避難訓練実施年～2回実施)</li> <li>5. 感染症対策委員会を定期的に開催し、ノロウイルス、インフルエンザ等の予防対策を保健衛生面から強化した。</li> <li>6. 利用者集会を開催し、要望・意見等に速やかに対応するよう努めた。</li> </ol>						
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学園の行事に参加をして頂き、交流を深め、地域の一員として確立していけるように努めた。</li> <li>2. 町内会の行事等に積極的に参加するよう努めた。(歩道の花壇整備等)</li> <li>3. 町内会へ駐車場等の提供を行った。</li> <li>4. 園芸作品(花苗等)の販売を通じ、地域貢献に努めた。(5月中旬～下旬)</li> </ol>						

## 平成31年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

共同生活援助事業所よつばクローバー 定員 32名 現員 29名	
施設整備事業	<p>1. クローバー3 内装改修（耐火壁張替え）工事 3,736,800円</p> <p>2. 非常災害用備品（8セット） 157,595円</p> <p style="text-align: right;">合 計    3,894,395円</p>
支援サービスの目標	<p>1. 地域での生活を継続して行くために、見回り及び夜間対応の充実を図り、より安心して安全に自立した生活が出来る様に支援に努めた。</p> <p>2. 日中活動で、生活介護事業所を活用し、支援体制の充実を図った。</p> <p>3. 防火対策及び災害対策の強化を図って行くように努めた。 （避難訓練実施年～2回）</p> <p>4. 利用者集会を開催し、要望・意見等に速やかに対応するよう努めた。</p> <p>5. バックアップ職員と世話人とのミーティングを定期的実施し、生活の質の向上を図るよう努めた。</p>
地域との連携	<p>1. 町内会の行事等（清掃等）に参加し、地域の中の一員として暮らしていけるように努めた。</p> <p>2. 学園本体の行事等にも参加し、交流を深めた。</p>

## 平成31年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

相談支援事業所 四ツ葉	
整備事業	
相談支援事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障がい者の福祉の向上並びに自立と社会参加を促進することを目的とし、充実した障害福祉サービス及び社会資源を十分活用できるように情報提供を図り、必要な援助、相談支援の実施を行った。</li> <li>2. 訪問相談・電話・ファクス等の方法で相談受付（月～金曜日まで9時から17時）（土曜日は9時から12時）を実施した。</li> <li>3. 障がい者相談支援事業の実施において、小樽市委託の基本相談並びに他市町村からの依頼によるサービス計画作成及びモニタリングの実施を円滑に行った。 （小樽市より委託料として、3,300,000円）</li> <li>4. 障害支援区分認定調査受託（小樽市及び他市町村）</li> </ol>
地域との連携交流	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障がい者の地域生活において、総合的な支援を実現するために小樽市障がい児・者支援協議会を活用し、地域での課題解決に向け、関係機関及び他の専門機関と連携調整等の実施を行った。</li> <li>2. 後志管内及び他市町村の自立支援協議会加入事業所と積極的に交流をし、情報交換に努めた。</li> <li>3. 小樽市委託の基本相談を通して、市内在住の障がい者を対象とした生活全般の相談、福祉サービス利用に向けた調整等の相談業務を行った。</li> </ol>

# 平成31年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	障害者支援施設 余市幸住学園 定員50名						
施設整備事業	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">1. 居室バリアフリー工事（2部屋）</td> <td style="text-align: right;">883,440円</td> </tr> <tr> <td>2. ボイラー給湯配管工事</td> <td style="text-align: right;">3,176,982円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合 計</td> <td style="text-align: right;">4,060,422円</td> </tr> </table>	1. 居室バリアフリー工事（2部屋）	883,440円	2. ボイラー給湯配管工事	3,176,982円	合 計	4,060,422円
1. 居室バリアフリー工事（2部屋）	883,440円						
2. ボイラー給湯配管工事	3,176,982円						
合 計	4,060,422円						
支援サービスの目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的人権を尊重し、権利擁護の意識に徹した支援に努めた。</li> <li>2. 個別支援計画を年2回実施し、個々に適した支援の構築に努めた。</li> <li>3. 事故防止に繋がるようケース会議を実施し、安全対策を講じた支援を図った。</li> <li>4. 感染症の予防対策と衛生管理の行き届いた支援に努めた。</li> <li>5. 専門的スキルを身につけ、より良い支援に努めた。</li> <li>6. ウォーキングなどの運動を取り入れ、体力低下や老化防止のための支援を継続して行った。</li> <li>7. 音楽療法を取り入れ、心身の安定に役立つ支援に努めた。（月2回）</li> <li>8. 化粧療法を取り入れ、心身の安定に役立つ支援に努めた。（年4回実施）</li> <li>9. 利用者集会等での要望や苦情等の速やかな解決に努めた。（年6回実施）</li> </ol>						
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行事等を通じて地域との交流を深め、相互理解と協力を得るよう努めた。</li> <li>2. 地域の活動（清掃、草刈）へ積極的に参加し、連携を深めるよう努めた。</li> <li>3. 地域関連施設と連携を図り、情報の共有化に努めた。</li> </ol>						



# 平成31年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	生活介護事業所 こうずみ とよおか 定員40名
施設整備事業	
支援サービスの目標	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 基本的人権を尊重し、権利擁護の意識に徹した支援に努めた。</li><li>2. 個別支援計画を年2回実施し、個々に適した支援の構築に努めた。</li><li>3. 事故防止に繋がるようケース会議を実施し、安全対策を講じた支援を図った。</li><li>4. 感染症の予防対策と衛生管理の行き届いた支援に努めた。</li><li>5. 専門的スキルを身につけ、より良い支援に努めた。</li><li>6. ウォーキングなどの運動を取り入れ、体力低下や老化防止のための支援を継続して行った。</li><li>7. 音楽療法を取り入れ、心身の安定に役立つ支援に努めた。(月2回)</li><li>8. 化粧療法を取り入れ、心身の安定に役立つ支援に努めた。(年4回実施)</li><li>9. 利用者集会等での、要望や苦情等の速やかな解決に努めた。(年6回実施)</li></ol>
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 行事等を通じて地域との交流を深め、学園及び地域との相互理解と協力を得られるよう努めた。</li><li>2. 地域関連施設と連携を図り、情報の共有化に努めた。</li></ol>

# 平成31年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	就労継続支援B型事業所 こうずみ 定員20名
施設整備事業	<p>1. 幸の湯ボイラー釜取替工事 (中止、次年度実施予定) <span style="float: right;">2,106,000円</span></p>
支援サービスの目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生産・運営活動の機会を通し、就労についての社会的マナーや知識の習得及び能力の向上に努めた。</li> <li>2. 公衆浴場の運営を通じて、地域交流がより一層深まるように支援を行った。</li> <li>3. 事故防止に繋がるよう、ヒヤリハット等の報告をもとに予防対策を構築した。</li> <li>4. 感染症の予防対策と安全衛生管理の徹底に努めた。</li> <li>5. 基本的人権を尊重し、権利擁護の意識に徹した支援に努めた。</li> </ol>
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公衆浴場の運営を通して地域との交流を深め、より障害者への理解を深めてもらえるよう務めた。</li> <li>2. 地域共生として公衆浴場の無料開放（敬老の日）等を実施した。</li> <li>3. 行事や買い物等の余暇支援を通じて、地域交流の場を設けた。</li> </ol>

# 平成31年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	共同生活援助事業所 こうずみ メープル 定員34名						
施設整備事業	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">1. 下水道工事（けやき）</td> <td style="text-align: right;">1,965,600円</td> </tr> <tr> <td>2. 下水道工事（さくら）</td> <td style="text-align: right;">788,400円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">2,754,000円</td> </tr> </table>	1. 下水道工事（けやき）	1,965,600円	2. 下水道工事（さくら）	788,400円	合 計	2,754,000円
1. 下水道工事（けやき）	1,965,600円						
2. 下水道工事（さくら）	788,400円						
合 計	2,754,000円						
支援サービスの目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域で安心してゆとりある生活が出来るように、積極的な支援を行った。</li> <li>2. 個別支援計画を年2回実施し、個々に適した計画を実施し充実を図った。</li> <li>3. 事故発生を予防する為、ヒヤリハット等の報告をもとに予防対策を構築した。</li> <li>4. 感染症の予防対策と衛生管理の行き届いた支援に努めた。</li> <li>5. 高齢化に伴う、体力・機能の低下を防ぐと共にADLの維持に努めた。</li> <li>6. 基本的人権を尊重し、権利擁護の意識に徹した支援に努めた。</li> </ol>						
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町内会行事に参加し交流を深め、地域の一員として暮らしていけるように努めた。</li> <li>2. 地域での日中活動を通じて、相互理解を深めた。</li> </ol>						

# 平成31年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

相談支援事業所 余市幸住学園	
施設整備事業	
相談支援事業	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 障害者の福祉の向上ならびに自立と社会参加を促進することを目的とし、充実した障害福祉サービス及び社会資源を十分活用できるよう情報提供をし、相談支援の実施を行った。</li><li>2. 訪問相談・電話・FAX等の方法で相談受付（月から金曜日9時から17時まで、土曜日は9時から正午まで）として実施した。</li><li>3. 障害支援区分認定調査において、関係機関と調整し実施した。</li></ol>
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 障害者の地域生活を支援するために、自立支援協議会等を活用し、課題解決に向け関係機関及び他の専門機関と連絡調整等を行った。</li><li>2. 自立支援協議会等に積極的に参加し、他の福祉団体との情報交換及び交流を行った。</li></ol>

## 平成 31 年度 事業報告書

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

余 市 豊 浜 学 園 定員 30 名											
施 設 整 備 事 業	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">1. 車庫新設（2連車庫）</td> <td style="text-align: right;">1, 376, 028円</td> </tr> <tr> <td>2. 給湯ボイラー修繕工事</td> <td style="text-align: right;">6, 944, 400円</td> </tr> <tr> <td>3. 体育館サッシ窓取り付け工事</td> <td style="text-align: right;">2, 062, 800円</td> </tr> <tr> <td>4. 男性トイレシャワー室設置工事</td> <td style="text-align: right;">1, 209, 600円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合 計</td> <td style="text-align: right;">11, 592, 828円</td> </tr> </table>	1. 車庫新設（2連車庫）	1, 376, 028円	2. 給湯ボイラー修繕工事	6, 944, 400円	3. 体育館サッシ窓取り付け工事	2, 062, 800円	4. 男性トイレシャワー室設置工事	1, 209, 600円	合 計	11, 592, 828円
1. 車庫新設（2連車庫）	1, 376, 028円										
2. 給湯ボイラー修繕工事	6, 944, 400円										
3. 体育館サッシ窓取り付け工事	2, 062, 800円										
4. 男性トイレシャワー室設置工事	1, 209, 600円										
合 計	11, 592, 828円										
支 援 サ ー ビ ス の 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 活動スペースの改修により、日中活動が効率良く充実した活動が実施出来るようさらなる工夫を実施した。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 利用者各々の特性に合わせた活動支援・見守り体制の整備を見直した。</li> <li>(2) 利用者個々の「計画相談」に添うサービス計画を作成し、本人のニーズも取り入れた活動の充実を図った。</li> </ol> </li> <li>2. 休日の余暇支援の一環として、音楽療法・ラジオ体操やリトミック・外出支援を多く取り入れて実施した。</li> <li>3. リスクマネジメントにおけるリスク管理、感染症予防対策と衛生管理、防犯対策の徹底を各委員会にて協議し実施した。</li> </ol>										
地 域 と の 連 携	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 海浜清掃、墓地草取り、畑の耕運、老人世帯の除雪などの活動を通じて、より一層の理解が得られるよう公益的な事業を行い、地域との積極的な交流に努めた。</li> <li>2. 地震等・自然災害発生時における、迅速で適切な避難が出来るよう訓練を実施し、放射線防護施設（フィルター棟）を活用し、原子力災害時には「屋内退避・避難所」として利用者が安全に避難生活できる様に、余市町との連携を深め近隣住民の受入体制や非常用燃料の給油や、支援物資搬入の訓練に学園設備を提供し実施した。</li> </ol>										

# 平成31年度事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

## 中央保育所

入所延べ人数	入所児定員120名								
	歳児別	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	
	歳児別定員	18	29	21	18	17	17	120	
	歳児別定員延べ人数	216	348	252	216	204	204	1,440	
	措置延べ人数	108	261	236	218	276	264	1,363	
施設整備事業	施設整備事業								
	1. 重油タンク整備							1,446,500円	
	2. グラウンド整備							475,200円	
	3. ボイラー室ドア取り換え							378,000円	
	4. 地域歳末助成事業(カセットストーブ)							49,183円	
	5. 共同募金助成事業(布団)							96,750円	
	合計						2,445,633円		
運営実績	運営事業								
	保育所の環境を整備し、常に子どもの安全に気をつけ、必要な生活習慣を身につけ心身ともにたくましい子どもに育つよう保育の推進をはかりました。								
	1. 特別事業								
	(1) 延長保育事業の実施。 利用延べ人数 1,187人								
	(2) 休日保育事業の実施。 利用延べ人数 690人								
	(3) 障がい児保育事業の実施。利用延べ人数 36人								
	(4) 零歳児保育事業(産休明け)保育を積極的に受け入れました。								
	2. 関連事業								
	(1) 児童の健康管理 嘱託医による年2回の健康診断を実施しました。								
	(2) 事故防止 災害避難訓練を毎月実施し、消防署職員立会いの訓練を2回実施しました。 交通安全教室を開催し、指導員より指導を受けました。								
(3) 児童園内外体験 四ツ葉学園の園バスで春には円山動物園や余市円山公園、秋には天狗山登山、冬には公園へそり遊びに行きました。あおぞら保育園との交流として、四ツ葉農場でも植えや芋掘りを行いました。雪あかりの路の散策は、新型コロナウイルス発症で中止いたしました。 地域の交流で敬老の日やクリスマスなどにデイサービスやケアハウスの訪問をして、入所している皆さまとわらべ歌やゲームをしたり、サンモール一番街、近隣の薬局や南樽市場での作品展示もました。 今回の新型コロナウイルス感染症対応で保育所は休まず、通常通り保育を行いました。しかし、3月からのイベントを自粛いたしました。お別れ会は、時間を短縮し、参加者の人数制限をして執り行われました。新型コロナウイルス感染症対応(毎日検温、発熱37.5以上は登所しない)は、引き続き対応していきます。									

# 平成31年度事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

あおぞら保育園								
入所延べ定員	入所児定員 90名							
	歳児別	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
	歳児別定員	10	16	18	17	15	14	90
	歳児別定員 延べ人数	120	192	216	204	180	168	1,080
	委託延べ 人数	115	179	197	221	216	212	1,140
施設整備事業	施設整備事業							
	1. 園舎床張り替え工事					2,548,800円		
	2. 地域歳末助け合い助成事業(遊具・絵本)					74,970円		
	3. 共同募金助成事業(掃除機)					86,400円		
合 計					2,710,170円			
運営実績	運営事業							
	<p>保育所の環境を整備し、常に子どもの安全に気をつけ、必要な生活習慣を身につけ心身ともにたくましい子どもに育つよう保育の推進を図りました。</p>							
	1. 特別事業							
	(1) 延長保育事業の実施。			利用延べ人数	2,184人			
	(2) 一時的保育事業の実施。			利用延べ人数	4人			
	(3) 零歳児保育事業(産休明け)保育を積極的に受け入れました。							
	2. 関連事業							
	(1) 児童の健康管理							
	<p>嘱託医による年2回の健康診断を実施しました。</p>							
	(2) 事故防止							
<p>災害避難訓練は年2回の消防署職員立ち会いの訓練を含め、毎月実施しています。大震災を念頭に置き、冬期間の地震、津波を想定した避難場所への移動避難を実施しました。また、今年度も警察署と合同で不審者対応訓練を行い、職員も真剣に取り組みました。交通安全教室を年2回実施、指導員より指導を受けました。ヒヤリハットを提出し、その傾向を分析し、危険回避に努めました。</p>								
(3) 児童園内外体験								
<p>年長児によるいも植え、いもほり体験は天候に恵まれ、中央保育所の年長児との交流を深めました。熊谷氏によるエレクトーン演奏会があり、一緒に歌うなど、音楽の楽しさを味わいました。夏祭りは親子参加の形で園庭での出店や軽食を出し、大盛況で終わりました。法人のバスを借りて年長児は、天狗山登山、他の年齢児も円山動物園などバス遠足を行いました。</p>								
<p>食育活動の一環で漁連さんの協力を頂き、たこ、ホッケなど魚の生態を教えてもらい、実際に目に触れ、触感を味わい、その後食して貴重な体験をしました。2月後半から新型コロナウイルス感染症予防のため、手洗い、うがい、消毒等の衛生面を徹底して、お別れ会等、行事も縮小、保護者参加を極力控えて行いました。</p>								